



平成 30 年 8 月 22 日
佐賀大学大学院工学系研究科

循環物質化学専攻大学院生 2 名が 第 68 回コロイド及び界面化学討論会にてポスター賞を受賞

【概要】

平成 29 年 9 月 6 日～8 日に、第 68 回コロイド及び界面化学討論会が神戸大学で開催され、循環物質化学専攻 博士前期課程学生 2 名がポスター賞を受賞しました。

【本文】

平成 29 年 9 月 6 日～8 日に、第 68 回コロイド及び界面化学討論会が神戸大学で開催されました。本大会は、日本化学会コロイドおよび界面化学部会の主催で毎年度開催され、学生から法人まで多くの方々が参加する全国規模の学会です。本年度は 460 件の口頭・ポスター発表があり、活発な討論が行われました。ポスター発表のうち、若手研究者（大学院生、博士研究員、助教などの発表者）で特に優れた数人の発表者に対しポスター賞を授与しています。

循環物質化学専攻から、下記の 2 名の博士前期課程学生がポスター賞を受賞しました。おめでとうございます。

○ポスター賞

循環物質化学専攻 博士前期課程 1 年 光武 祐希 君

題目：Langmuir 法を用いたリポソームの新規調製法の確立とその評価

発表者：光武祐希・大石祐司・成田貴行

循環物質化学専攻 博士前期課程 1 年 高崎 夕希 さん

題目：温度を感受して自律拍動するキトサン内包カプセルの調製

発表者：高崎夕希・本田貴浩・大石祐司・成田貴行



受賞した光武祐希君(右)と高崎夕希さん